

災害ボランティアぐんまについて

隣の新潟県では、平成16年に中越地震や水害など多大な自然災害に見舞われ、その際、多くのボランティアが活躍されました。その活動により災害ボランティアの重要性が改めて認識され、活動された多くの方々から、「災害ボランティア活動を組織化し、今後の災害に備えたい。」

という気運が高まりました。

こうした盛り上がりを踏まえ、有志20名による発起人会を立ち上げ、群馬県の支援を受けながら協議を重ね、防災の日(平成17年9月1日)に県民主体のボランティア組織として「災害ボランティアぐんま」が発足しました。

1 設置目的

1. 群馬県内での災害発生時における県内被災者への救援活動
2. 首都圏や近県の災害発生時における被災者への救援活動
3. 災害等に備え、ボランティア、企業、大学、NPO等のネットワーク化
4. 災害時のボランティア活動において中心的に活動できる人材養成

2 実施予定事業

1. 災害時における救援ボランティアの指導者の育成と指導技術の向上
災害ボランティア・リーダー養成講習会の開催、リーダーのネットワーク化、情報の共有など
2. 災害時に備えた企業、各種団体、行政とのネットワーク化(相互交流、情報交換等)
定例会の開催、会報等の発行、災害時に対応した各種団体情報の集約と整理など
3. 自治体との連携による災害救援体制の構築
各市町村と協定を締結しボランティアセンターの設置運営を支援、ボランティアの派遣など
4. 防災意識の啓発
消防署・行政・社会福祉協議会等と協働して防災講習会・講演会の開催、消火・救助等の防災訓練など

3 組織等



災害ボランティアぐんまの活動予定の概要

- ①災害時における緊急支援体制の充実 ②地域・企業・行政とボランティアとの相互理解の促進 ③災害救援活動時におけるノウハウの蓄積 ④企業の社会貢献 ⑤県民のボランティア意識の向上

